



# DOCOMO TEAM DANDELION RACING

## Team Release

### 予選レポート

## 2016/4/23 Rd-1 鈴鹿サーキット

天候：晴れ時々曇り 気温：25℃ 出走台数：19台

昨年のGP2チャンピオンにしてF1マクラーレン・ホンダのリザーブドライバー ストフェル・バンドーン選手の DOCOMO TEAM DANDELION RACING への加入や、今年からブリヂストンに代わってヨコハマタイヤが採用されるなど、注目のスーパーフォーミュラ 2016 シーズンが鈴鹿サーキットで開幕した。

ノックアウト第1予選、野尻選手とバンドーン選手はともにユーズドタイヤでバランスとコースコンディションをチェック。ニュータイヤに交換し、残り7分でアタックへ。ところが、アタックラップ中にスピン車両が発生し赤旗中断となってしまう。残り時間は3分。ワンアタックに集中力を高め、コースオープンとともにアタックへ。野尻選手9番手、バンドーン選手は3番手の好位置で第2予選へ進んだ。

続く第2予選、誰よりも早くコースインしたバンドーン選手は4番手タイム。ところがここでまたもやスピンにより赤旗が掲示され、野尻選手はアタックを中断することに。スピン車両が撤去され、再び3分間のワンアタックに向かう野尻選手は、第1セクターと第3セクターでベストタイムを記録するも、第2予選通過ギリギリの8番手。かろうじて第3予選に進んだ。

そして迎えた第3予選、野尻選手、バンドーン選手はともにタイムを削ってゆく。

バンドーン選手は3位にわずか1/100秒届かず4位で、野尻選手はバンドーン選手に2/1000差という僅差の5位で予選を終えた。

**40：野尻 選手 予選5位** (第1予選9位 第2予選8位 第3予選5位) HONDA 勢3位  
荒れた展開の予選で、第2予選では危うく予選落ちしかけたが、何とか第3予選に残ることができました。車両の状況は悪くはありませんが満足できる状況でもないので、決勝に向けて進化させなければなりません。5位からのスタートは十分表彰台です。シーズンスタートの鈴鹿戦をバンドーン選手とともにダブル表彰台で終えたいです。

**41：バンドーン選手 予選4位** (第1予選3位 第2予選4位 第3予選4位) HONDA 勢2位  
初めてのスーパーフォーミュラの予選としては良かったと思う。朝のフリー走行からチームはベストな車を準備してくれたし、とても良い予選だったけど、些細なミスもすることなくアタックラップをまとめることや、路面コンディションの変化など、理解しなければならぬことも多かった。4位と5位からのスタートはチームにとって良いスタートポジションなので、明日のレースに向けて準備を進めます。